

第39回総合リハビリテーション研究大会 前夜祭

日時 2016年11月4日(金) 17:00~20:00

会場 目白大学新宿キャンパス 研心館
(東京都新宿区中落合 4-31-1)

参加費 2,000 円、800 円(学生)

※総合リハビリテーション研究大会参加者は、1,000 円(一般)、600 円(学生)

各種協会ポイント 日本理学療法士協会認定及び専門理学療法士履修ポイント(申請中)
日本作業療法士協会生涯教育制度ポイント(1ポイント)

* 5日(土)、6日(日)の研究大会と合わせてご参加をお待ちしております。*

17:00~18:00 **第1部 鼎談によるアピール「障害者福祉のメッカとしての新宿」**
~日本の国際障害者年から障害者権利条約締結までの歩みを中心に~

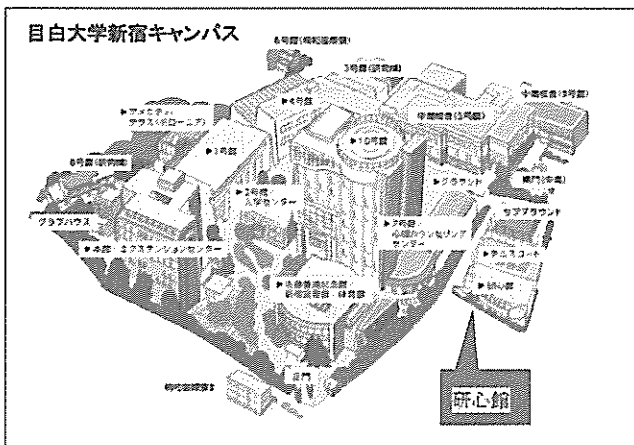
新宿区は、従来から多くの障害者団体や、リハビリテーションセンター、関係機関・施設などがあり、多くの諸先輩方が活躍されてきた場所です。

その中から、障害当事者でもあるトップランナーのお二人をお迎えし、1981年の国際障害者年以降の歩みを、大会実行委員長とともに振り返り、大会前夜におけるアピールとします。

講師: 田中徹二 ((社福)日本点字図書館理事長)
春田文夫 ((特非)日本障害者協議会理事、総務委員長)
松矢勝宏 (第39回大会実行委員長)

18:00~20:00 **第2部 学生と若手ワーカーのためのICF研修会** (※詳細は裏面)

講師: 上田敏 ((公財)日本障害者リハビリテーション協会顧問・元東京大学教授)
大川弥生 ((国研)産業技術総合研究所 ロボットイノベーション研究センター
招聘研究員)



【お申込み方法】

総合リハビリテーション研究大会のお申込み用紙を使用してください。(総合リハビリテーション研究大会の参加有無にかかわらず、同じ申込用紙を使用して下さい。)

【申込み・問合せ先】

第39回総合リハビリテーション研究大会 事務局
〒162-0052 東京都新宿区戸山 1-22-1
公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会内
TEL:03-5292-7628 FAX:03-5292-7630
E-mail:rehab@dinf.ne.jp

学生と若手ワーカーのための ICF 研修会

- 日 時 2016 年 11 月 4 日 (金) 18:00~20:00
- 場 所 目白大学新宿キャンパス(東京都新宿区中落合 4-31-1) 研心館
- 講 師 上田 敏 ((公財)日本障害者リハビリテーション協会 顧問、元東京大学教授)
大川 弥生((国研)産業技術総合研究所 ロボットイノベーション研究センター 招聘研究員)
- 主 催 (公財)日本障害者リハビリテーション協会
- 参加費 2,000 円、800 円(学生) 当日支払い可
総合リハビリテーション研究大会参加者は 1,000 円、600 円(学生)
(研究大会+前夜祭(ICF 研修会含む)で(一般)4,000 円、(学生)1,600 円)

各種協会ポイント

- 日本理学療法士協会認定及び専門理学療法士履修ポイント取得可能(申請中)
日本作業療法士協会生涯教育制度ポイント取得可能(1ポイント)

「リハビリテーション」とは「機能回復訓練」だと思われていることが多いのですが、本当の意味はそうではなく、障害のある人(当事者)の「人間らしく生きる権利の回復」です。「生き甲斐のある生活・人生を作ること」といってもよいと思います。

それは一部の専門家の力だけでできるものではなく、当事者と家族を中心に、さまざまな専門家や行政、サービス、サポート、地域社会が力を合わせてはじめて実現できるものです。それが、私たちがめざしている「総合リハビリテーション」です。

このように異なる立場の人々が、共通の目標に向かって協力していくためには、当事者の状況を総合的に把握し、それが専門家を含む支援者の共通認識となることが不可欠です。

そのためには「共通言語」(共通のものの考え方・捉え方)が必要です。その点、ICF(WHO 国際生活機能分類)は、人が「生きることの全体像」を偏りなく総合的に捉えることのできる「統合モデル」に立った、総合リハビリテーションに大きく役立つ「共通言語」です。

今回は、「総合リハビリテーションのために、それに関わる全ての専門職種の学生や若手ワーカーが、いかに ICFを『共通言語』として活用するか」という観点からお話を進めていきます。

具体的内容

はじめに: 本研修会の趣旨

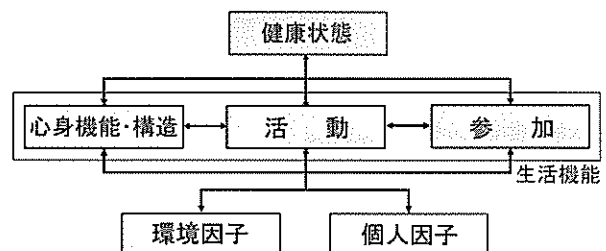
1. ICFの特徴

- 1) 「生活機能」と「障害」(生活機能低下)
- 2) 「生活機能モデル」

2. 「相互作用・統合モデル」としてのICF

3. 災害時の生活機能低下から学ぶもの
4. 現状把握と目標設定のための活用

ICFの「生活機能モデル」(WHO, 2001)



お申込み

総合リハビリテーション研究大会のお申込み用紙。

(総合リハビリテーション研究大会参加の有無にかかわらず同じ申込用紙です。)

第 39 回総合リハビリテーション研究大会 事務局

TEL : 03-5292-7628 FAX : 03-5292-7630 E-mail : rehab@dinf.ne.jp